

## ディッシングマシンの使用手順

1. マシンを置く場所は平らで、傾いていないこと。マシン自体が傾いていると、使用時に損傷する恐れがあります。フィルターバッグを清水で洗浄し、湿気に浸しておきます。
  2. 脱水するアイテムをフィルターバッグに入れ、その後フィルターバッグを脱水用の内筒に入れ、フィルターバッグ内のアイテムを均等に配置します。そして、脱水用の内筒にプラスチック圧縮板を固定し、適切な溝に置いて、プラスチック圧縮板がフィルターバッグを押すようにします。
  3. 手を機械に置き、電源プラグを差し込み、電源スイッチを押します。「I」の電源ランプが点灯し、モーターが1~2秒間動作します。電源スイッチを押し、「O」の電源ランプを消して動作を停止します。これにより、脱水した内筒が慣性で回転し、フィルターバッグ内の物品が脱水した内筒内でより均等に分散されます（機械の運転中は危険を避けるため、手を機械に入れないでください）。
  4. 手順3を2~3回繰り返して、脱水内筒の慣性回転時に変位振幅が大きすぎないか確認します。変位振幅が過剰になる現象がある場合は、無理に連続運転を行わないでください（脱水内筒の変位振幅が大きすぎると、脱水内筒の変形、モーター軸の曲がり、機械の損傷を引き起こす可能性があります）。この時、電源スイッチを押して「O」電源ランプになって運転を停止し、脱水内筒が完全に停止した後にプラスチック圧縮板を取り外し、その後、再度手順2を行い、手順3を2~3回繰り返します時々。操作が正常であることを確認するに問題がなければ、外バレルボディのフラットリッドを閉じた後、運転を続け脱水を行い、アイテムの脱水が完了するのを待つことができます。フィルターバッグは消耗品であり、フィルターバッグのフィルターホールは使用条件と清潔度に応じて徐々に詰まり、フィルターバッグの脱水効率が低下し、脱水能力とフィルターバッグの重量が減少する可能性があります。
- \* 脱水された製品の最大重量は6kgです（脱水前の製品の重量を指します）。

## ◆ 清掃手順 ◆

伝統的な脱水（植物）機の外筒と下部座席は分離できません。分離された脱水（植物）モデルの外筒本体と下部座席のみが分離可能です。外筒本体と下部座席を組み合わせた後、筒体固定リングで固定され、組み合わせ固定箇所との間に完全に密封されず、微細な隙間が残ります。この微細な隙間は、排水が不良な場合に液体が下方に流れ出たり、水出口が塞がるのを防ぎ、この微細な隙間から流れ出ることができます。液体が下部座席の中心モーターの抗こぼれリングを通して溢れるのを防ぎ、モーターの損傷を避けるためです。この微細な隙間は振動を生じません騒音と緩みについて。したがって、通常の使用において、内筒が回転するときが発生する風圧のために、液体が少量発生することがあり、筒体の固定リングからわずかな隙間を通じて少量の液体が流れ出ることは、正常な現象です。初めて使用する際は、漏斗のふたや平らなふたを取り外し、外筒本体と下部座を分離し、漏斗のふたや平らなふた、外筒本体、脱水された内筒、集中排水部分を食器用洗剤で洗浄し、下部座の外壁を清潔な湿った布で拭いてから組み立てて使用してください。

1. 電源スイッチを押します。「O」の電源ライトを消し、電源プラグを抜き、漏斗カバーまたは平らなカバーを取り外します。
2. 脱水内筒が完全に停止した後、脱水内筒からフィルター袋を取り出し、フィルター袋の内容物を取り出します。フィルター袋はすぐに清水に浸して、フィルター袋のフィルター穴が硬化して詰まるのを防ぎます。フィルター袋のフィルター穴が詰まった場合、元のろ過機能は回復しません。浸して掃除した後、フィルター袋を脱水内筒に戻し、少し水平にして、手で機械を持ち、電源プラグを差し込み、電源スイッチを押して、パワーランプを「I」にします。モーターを 10 秒間運転させてフィルター袋をきれいに脱水し、その後、電源スイッチを押して「O」にし、パワーランプが消灯して停止します。
3. 脱水された内筒が完全に停止した後、フィルター袋から脱水された水が清潔で透明で無色であることを観察するために、ステップ 2 を数回繰り返します。フィルター袋を取り出した後は乾燥させて、フィルター袋の使用寿命を延ばすことができます（機械が動いている間は、危険を避けるために手を機械に入れないでください）。
4. 電源スイッチを押して、「O」電源ランプを消して停止し、電源プラグを抜き、脱水内筒が完全に停止するのを待ち、外筒本体を下部の座席から分離し、漏斗カバーまたは平面カバー、外筒本体、脱水内筒、集中排水部分を掃除し、きれいな湿った布で下部の座席の外壁を拭いて再度組み立てます。